

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：シニアフォレスト横浜戸塚	種別：特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム)	
代表者氏名：石橋 雄一	定員(利用人数)： 60名(利用人数：60名)	
所在地：〒245-0066 横浜市戸塚区俣野町461		
TEL：045-852-6300	ホームページ： https://www.medicalcare-group.com	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：平成26年4月1日		
経営法人・設置主体(法人名等)：株式会社メディカルケアシステムズ		
職員数	常勤職員：11名 非常勤職員：24名	
専門職員	(専門職の名称) 名	
	看護師2名	介護支援専門員1名
	准看護師3名	介護福祉士7名
	生活相談員2名	機能訓練指導員1名
施設・設備の概要	(居室数)	(設備等)
	60室	浴室4
		トイレ(共用)2
		エレベーター1

③理念・基本方針

施設理念：笑顔の追求

企業理念：当社に関わる方々の幸せを切に願い希望を明日へつなぎます。
常に医療介護のあるべき姿を追い求め、入居者様、ご家族様に安らぎと満足を提供し、人々の幸福を祈りつつ共に行けてゆくことで広く社会に貢献します。
この存在意義のもと、医療介護業務に従事する者としての使命を自覚し、施設内外問わず他者に対しては常に敬意を払い、誠実に全ての業務に取り組み、例外なく心のこもった快適なサービスを提供することを至上命題とします。

④施設・事業所の特徴的な取組

介護：60名の入居者様に対し、看護・介護職員の比率2：1(介護常勤換算)を目指し、ゆとりある介護体制で、きめ細やかなケアを提供しています。

看護：医療連携体制の充実。24時間体制のクリニックからの訪問診療を2週間に1度行う他、皮膚科や眼科の訪問診療体制も整えています。また、近隣総合病院等の医療機関と連携体制もとり、入居者様の健康管理をバックアップしています。

上質：トータルコーディネート。高級感溢れる外観から、内装に至るまでトータル設計し統一感のある施設となっています。お洒落な外観と落ち着きのあるモダンな

内装、緑の多い庭も備え、住み心地の良い生活環境を整えています。

食事：健康を支える美味しい料理。栄養士による栄養バランスの良い美味しい食事を提供しています。手打ちそばやにぎり寿司の実演イベント等も企画し、食事を楽しんで頂ける工夫をしています。

行事：季節を感じられるお花見や祭り等の季節行事を始め、ピアノ演奏やアニマルセラピー、毎月開催されるお誕生日会や観光地巡り等を用意しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年8月10日（契約日）～ 令和6年4月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2015年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)多彩なイベントや行事を開催をしています

施設では毎月1日に入居者の誕生日を祝う誕生会を開催しています。誕生会では通常のメニューとは違うお祝いにふさわしいメニューを栄養士が考え提供しています。また、正月や節分、お花見、七夕、納涼会、敬老会、運動会、クリスマス会等の季節毎の祝賀会や行事の他、そば打ちやにぎり寿司の実演イベント、アニマルセラピー、ピアノの演奏会等も行っています。外出にも力を入れており、利用者の希望による近隣での買い物や外食もしています。家族も参加して利用者とともに東京湾クルーズ船での食事会を行いました。コロナ禍のため行動に制限があり、ここ数年の外出は思うように実施できていませんが、これからも利用者・家族とも楽しめるイベントを計画しています。

2)利用者の状況に合わせて機能訓練や介護予防に取り組んでいます

利用者の日々の生活の中で不活発とならないように支援をしています。映像や職員が指導しての毎日の体操、及びボールや風船、ゲームを使用し体を動かして、認知機能の低下の予防に努めています。機能訓練指導員による利用者個別の運動機能評価を行い、必要な運動や個別のレクリエーションを検討し、機能訓練計画書を作成して実施しています。散歩など屋外に出たい希望があれば職員が付き添い近隣を歩き、季節感を感じて気分転換を図るなど、リラクゼーションも合わせた運動の機会確保に努めています。

3)重度化・終末期ケアを受入れて支援しています

施設での看取りについては「終末期医療・重度化した場合における看取りの指針」により対応を明確にして受入れています。入居時に利用者・家族に説明し、書面により同意を得ています。実際に終末期となった場合にはその時の意向を改めて確認し、利用者・家族に寄り添った対応をしています。看取りに関するマニュアルを整備して研修等で職員に周知しています。看取り介護を行う際は終末期ケアカンファレンスを行い、医師・看護師等医療職とも連携した万全な体制の中、落ち着いて生活できるよう対応しています。

4)5S活動によるサービスレベルの向上が期待されます

法人では5S活動を行っており、倉庫や書庫は整理整頓が行き届いています。しかし、作業トレーの設置場所が不明確であったり、文書の整理整頓に不十分な面もあ

り、5Sの達成レベルはまだまだ伸びしろがある状況です。より良い福祉サービスの実現に向けて5S活動を活用していくことが期待されます。

5)人材育成を担保する仕組みづくりが望まれます

職員の能力別の評価や昇進についての仕組みが定められておらず、個人の能力や業務結果が評価に反映しない状況です。勤務年数や年齢等の要素が重視される評価システムで、業務に対する個人のモチベーションをどのように維持するのか大きな課題です。望まれる職員像を実現するための、スキルや経験の工程表（スキルマップ）を明確にし、人事評価により成長を支援していく仕組みづくりが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、施設開設10年目を迎える年度で第三者評価を受けさせて頂きました。評価を受けさせて頂くにあたり、事前準備から全部所で話し合いを行い一つの項目評価に対し意見を集めていきました。評価をすることで、今までの私たちの仕事、ご利用者様への支援を見直すきっかけにもなりました。ご利用者様への支援方法はもちろん、掲げている企業理念や施設の強みでもある5S活動。今後も今以上に理念浸透、5S強化に励んでいこうと評価会議でも多く声がありました。小さな気づきをこぼさず拾い続ける事が、すべての方の幸せにつながると願っております。これからも、施設の強みの一つでもあります外出レクの企画も増やしていきたいと思っております。今回の評価で取り組みが足りていないと分かった事に対し改善しサービス向上に努めて笑顔、笑い声の多い施設を目指していきたいと思っております。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり